

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年4月7日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>ジュネットコミックス392 ピアスシリーズ588 恋はAV現場で起きている</p> <p>令和3年4月5日発行</p>	<p>修整はされているものの、性描写もあり指定やむなし。</p> <p>男性同士の性行為の描写が続き、また擬音、体液の描写も多く、極めて卑わい感が強い。また、媚薬を飲ませて行為に及ぶ場面もあり、倫理的に問題があると考え。指定該当やむなし。</p> <p>特にストーリーに問題を感じないが、擬音、体液描写が多く、卑わい感が強い。また、全編にわたり、性交シーンが多い。該当やむなし。</p> <p>短編ながらストーリー性は少なからず感じる。しかし絵が激しく擬音も激しく卑わい感を乗り越している場面もある。性器も白ヌキ又は線で描いている部分もある。暴力的な描写はないが性交時の表現と擬音の多さが目立つ。総合的に見て指定該当。</p> <p>全体的に性描写の分量が多い。体液の描写や擬音も多く卑わい感が強い。性器は一応消されてはいるものの、形状がわかるものが散見される。また、道具の使用もみられる。総合的に判断して指定該当。</p> <p>AV男優という職業、媒体を通じて、人格否定、拘束、器具の使用、体液、擬音の描写があり、これを18歳未満が好きに買えるというのは問題ありと考える。指定やむなし。</p> <p>丁寧に消しを入れていて、局部を直接描かない工夫が見られる。後半にいくに従って性的シーンが多いようには思うが、体液の描き方で、挿入部分が判然とせず、非常に迷った。器具を使っている描写は厳しい。また、薬を使っており、嘘だとは言っているが、誤解を招く典型なので、そこを重く見て指定該当。</p> <p>BL短編集。画力もあり。ストーリー展開も上手で読みやすく、ふたりの恋愛模様が上手に描かれている。強制的に見える部分があるが、恋愛には必然的なやりとりに見えた。しかし、男性器の消しの甘さの登場回数が青年レベルをこえていると感じた。指定やむなし。</p> <p>AVという特殊な設定のBLマンガ。コミカルで一部幽霊が出てくるなど、大部分の卑わい感はない。ただし、巻末ショートや前半の一部における擬音、体液、拘束具、結合部の描写が、性的行為の露骨な描写表現となっているため、一部分においては青少年の性的感情を著しく刺激すると思われる。成人向き。指定該当。</p> <p>ジェンダー論、性的マイノリティが騒がれている中、ゲイのAV、ゲイの出会い系などの設定でゲイの悲哀のようなものを表現されているのかと考える。そういう観点では非該当だが、擬音や体液描写が多く保留。</p> <p>暴力、強制といった人格否定に該当する箇所は特に見当たらない。全体を通じて白抜きで性器の修整を加えているが、部分的に形状の分かる箇所が有る。また同様に結合部についても障害物を置き描いている部分と、それが無く判別できる所が有る。擬音、体液描写は多め。判断がつかず保留。</p> <p>物語の構成がうまく、卑わい感はあまりない。性器もほとんど修整されている。性器描写の露骨さを角度や白ヌキで隠すなど一定の配慮を感じる。しかし、おびたしい擬音と体液描写によって何が描かれているのかわからない場面が多く、判断に迷う。保留。</p> <p>性交シーンは多めで液体表現も目立つが性器修整はされている。ストーリー性もあるが、一部フェイクではあるが、薬を用いての強制シーンがあり気になった。描き文字等で結合部を隠すなど一定の配慮がなされており、判断に迷うため、保留。</p> <p>コミカルなストーリーで構成されている。性交場面は確かに多く描かれているが卑わい感はない。暴力的なシーンもない。指定非該当。</p> <p>絵柄はきれいで、性交場面も激しくはあるが、卑わいとまでは言えない。ストーリーも練られており読み物としての価値もある。性器の消しもまずまず達成されている。人格否定表現は薬物の使用による強制性交を思わせるシーンもあるが、オチは「嘘」となっており、一定の配慮がなされていると評価する。指定非該当。</p> <p>どの程度までが許容範囲なのか判断に迷う。しかし、修整はしっかりしていて、性器等も描いてなく、ちょっとコミカルな感じもする。ストーリーもしっかりしている。指定非該当。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年4月7日実施)

	図書名等	聴き取り内容
2	<p>SPコミックス 本当にあった 思わずザワつく とっておきの話</p> <p>令和3年3月17日発行</p>	<p>修整はされているものの、性描写も多く指定やむなし。</p> <p>若い男女の恋愛短編物語で、強制的、暴力的な描写はなく自然な流れでのセックスである。性器挿入の描写は修整はされている。しかし女性の上半身裸体での描写がリアルすぎて卑わい感を強く感じる。12話も読むとセックスは容易に出来るという印象を与えてしまう。青少年には不向きである。指定やむなし。</p> <p>オムニバスのため1話ごとに性行為が描かれており、そこに到るまでの展開も早く、分量が多い。人格否定や不法行為などは見受けられず、性器、体液の修整がなされている点をさしひいても、18歳未満が購入できるのは違和感を感じる。指定該当やむなし。</p> <p>官能マンガ短編集。消しもしっかりされている。1本強制的な性交の展開もあり。消されているとはいえ、性器の描き方の大きさと登場回数が青年レベルをこえていると感じた。指定やむなし。</p> <p>擬音、体液描写や開脚シーンが多い印象。一話だけおどして性交に至るシーンが有る。白抜きでぼかす形で性器の修整は確実に加えられている。結合部についても白くぼかす形で修整されており、一定の配慮の跡が見て取れる。保留。</p> <p>短編集のため、性描写の分量が多い。性器の修整は施されており、配慮をしているが故にアングルが大胆なコマが多い。絵柄は年季が入っており、青少年が手にとるような印象はないと思われるため、総合的に判断し保留。</p> <p>オムニバス形式で一部公序良俗に反するようなことも描かれてはいるものの重大な人格否定というものはないと考える。この程度の内容を否定したら世の中から、恋愛がなくなることを危惧する。指定非該当。</p> <p>各短編ごとに一定のストーリー性は認められ、一部卑わいな表現・描写もあるが、性器部分は修整されており、許容範囲であると考え。指定非該当。</p> <p>性的行為の描写は、露骨で卑わいな感じを与える面もあるが、性器の描写などは抑制されており、ストーリーには大きな問題はないと思える。指定非該当。</p> <p>暴力的な行為がある訳ではない。性器の消しは行われている。色々なストーリーがある割に性交シーンが描かれている場面は少なく感じる。指定非該当。</p> <p>性描写の分量は非常に多いとまでは言えない。性行為に至るまでがややご都合主義に見える箇所もあるが、概ねストーリーはしっかりとしており、物語を読ませる構成となっている。性器が描かれることはなく、全体的にボカシも大きめで卑わい感は少ない。指定非該当。</p> <p>消しはしっかりしており、配慮を感じた。一部、開脚など結合部を強調している部分や重要とみられる描写もあるが、全体的に甚だしいとはいえない。オムニバスのため性交シーンが多くなるのは必然だと思う。絵柄も大人向けで、青少年が手に取るか疑問。消しはいるが結合部の強調が非常に気にはなったものの、こういった作品で、ある程度性的シーンを描かなければならないことを考えると、迷ったがギリギリ指定非該当。</p> <p>性器および結合部はしっかり白く抜かれている。若干暴力的・強制的とも思えるシーンはあるものの、基本的に合意性交であり、短編であるため展開が早く描写が荒い箇所がある。指定非該当。</p> <p>想定読者は年配の方と思われる。性器の消しはほぼ完全になされ、各話においても基本的に同意性交が描かれ、悪質な人格否定表現は見られない。性交表現も類型的で卑わいとも言えない。各話半分程度はドラマシーンで性交シーンは後半の半分ほど。これが「全編」と言えるのかは疑問。指定非該当。</p> <p>性器修整はしっかりとされている。劇画タッチで青少年の性的感情を著しく刺激するとはいえない。指定非該当</p> <p>短編集のオムニバスの単行本なので、それぞれの内容がコミカルでおもしろく、卑わいな感じはあまりしない。修整もしっかりしていて、性器などはいっさい描いておらず、この程度であれば問題はないと思う。指定非該当。</p>